

2024/6/22

長岡京市みんなの未来をつくるまち活補助金活動発表

西山・森の教室と自然素材のものづくり

長岡京市里山再生市民フォーラム

# 長岡京市里山再生市民フォーラム

「四季折々の自然豊かな西山の里山再生」をめざし、  
森林の整備活動を続けています。

- 1) 西山キャンプ場周辺の市有地の森林整備
- 2) 鈴谷地区の竹林整備
- 3) 西代地区の里地整備
- 4) 小学生の里山体験支援
- 5) 間伐材などを使った子ども工作教室、大人クリスマスリースづくり

森林整備



里山講演会



小学生の里山体験支援

竹林整備



里地整備



リース作り教室

## 解決したい地域課題とその背景

- 西山と森林のありがたさが長岡京市民（特に子供たちやファミリー）に知られておらずまた実感していない。
- 子どもたちが日頃から自然、木、木の実に触る機会が少ない。
- 中高齢層にも手軽に自然素材でものをつくる機会をつくりたい。

## 解決するための事業

### ➤ 西山・森の教室…30分

山、森林の役割のうち環境維持、水源涵養、生物多様性を子供にもわかるようにまとめて話す。4回目は大学教授の講演会を実施して締めくくる。子供たちが観察したり考えながら実施できるようにする。

### ➤ 自然素材を使ったものづくり教室… 90分

木の枝や実を使った工作品、クリスマスリースづくりなど自然素材を触って学び、つくる機会を提供する

西山ホテルの家で、午前中、同時に行う。

## 到達したい状態や目標

西山・森の教室・・・森林の役割を知ることにより、小さいころから森に関する親しみと関心を高め、西山のイベントに参加するファミリーを増やし、森のかけがえのない役割を理解する市民を育成する。

自然素材を使ったものづくり教室・・・自然素材の手触りを知り、ひとつひとつ違う作品を作ることによって自然に親しむファミリーを増やす。

## 広報の方法

市民広報に掲載 チラシの配架、ホームページによる集客

## 収入を得る方法

子供の教室は300円、大人のリース教室は800円の参加費

# 今年度の事業内容とスケジュール

第1回 8月11日（山の日）夏休み西山・森の教室と工作教室（新規）

講演30分 工作90分 子供と保護者対象 25名 参加費 300円

第2回 11月17日（日）クリスマスリースづくり教室（継続）

講演 30分 リースづくり 120分

大人対象 25名 参加費 800円 簡単な森の教室を前段で行う

第3回 12月8日（日）西山・森の教室とクリスマス・正月飾り教室

（新規）子供と保護者対象 25名 講演30分 工作90分 参加費 300円

第4回 3月29日（土）西山・森の教室講演会（継続）

成人一般対象 30名 無料

講師 京大教授を予定 講演と質疑 120分

## 西山・森の教室と自然素材のものづくり

8月11日(日・山の日)10時～12時

西代里山公園・西山ホテルの家

1) やさしい森と水のお話 30分

2) ミニチュアの森づくり 90分



参加者 総勢27名  
一般公募親子 7組 17名（うち子供10名）  
スタッフ 10名（講師含む）

森と水のお話 パワーポイント、プロジェクターで説明  
森のミニチュアづくり  
直径15センチのキリの木の輪切りの台に、枝や  
ドングリを張り付けたりして森に見立てる

京都新聞の取材がありました。



# 親子、森の役割学ぶ

長岡京 講演と工作教室

京都市  
西大路

2024. 8. 12

オリジナルの森作りに熱中する子ども

(長岡京市奥海印寺・西代里山公園)



水となり、川に流れ飲み水などに利用される」と説明した。

母と参加した長岡第五小2年の岸下さらさん(8)。「奥海印寺」は「森は大切な役割を果たしてくれているので、守らないといけない」と思った」という。

工作教室で児童らは丸太の輪切りを中心に置き、その上に木の枝やドングリ、マツボックリを飾り付けた。水源涵養の話を参考にしたのか、誰もが紙粘土で川や池を作って青色に塗り配置した。

岸下さんの弟で保育園児の公揮ちゃん(6)は「木がたくさんあり、ドングリが紙粘土のいすに仲良く座っている楽しい森を作った。池の水はきれいな水で、飲めば熱中症にならないよ」と笑顔で話した。

(佐々木伸次)

山の口に合わせて、森の役割を学ぶ「西山・森の教室」と西山の自然素材を使う工作教室「ミニチュア森づくり」が11日、長岡京市奥海印寺の西代里山公園であった。親子7組9人は、子どもが工作を楽しみ、保護者も講演に耳を傾けた。

市里山再生市民フォーラム主催で、市の補助金を受け新たなイベントを企画。両教室の回数を増やして内容も充実し、同時開催で計3回実施。年度末に里山保全講演会を催す。森の教室では同フォーラムの代表に就任し

た吉岡洋さん(80)が講師を務め、「森の水源涵養―やさしい森と水のお話」をテーマに講演。

「森は雨が降って山が崩れるのを防ぐ。柔らかい土は水を地中に吸い込んでため動植物を育む。浄化され地下

# 西山・森の教室と自然素材のものづくり

11月17日(日)9時30分～12時

西代里山公園・西山ホテルの家

1) 地球温暖化と森のお話 30分

2) クリスマスリースづくり 120分



講義 地球温暖化と森 30分 ( 講師 吉岡洋 長岡京市里山再生市民フォーラム代表)  
自然素材のリースづくり 120分 ( 講師 八木麻里先生 花のアトリエ Y's ガーデン)  
クリスマスリースづくり有志スタッフ(5名)

クリスマスの森の中にフクロウが住んでいるようなユニークで美しいリースに仕上がりました。  
使用した自然素材・・・ナンキンハゼ、ノイバラ、センダン、フジのつる、カラスウリ、  
ヒノキの葉、スギの葉、シャリンバイ、ワタの実

参加者32名 受講者18名 スタッフ14名



## 西山・森の教室と自然素材のものづくり

12月8日(日)10時～12時

西代里山公園・西山ホテルの家

1) やさしいシカとイノシシのお話 30分



2) ミニチュアのクリスマス飾り 90分  
正月飾りづくり



吉岡代表の「やさしいシカ、イノシシのお話」 30分  
大藪美知子さん（西山ものづくり・たからばこ主宰）の指導による  
ミニチュアのクリスマスツリーと正月飾りづくり 90分  
親子11名とスタッフ含め総勢21名でした。  
何とか12時過ぎに出来上がり、皆さんの感想を聞きました。  
「ちょっとむつかしかったけど、面白かった、楽しかった」でした。



# 第4回 3月29日(土) 西山・森の教室講演会(予定)

成人一般対象 30名 無料

講師 京大教授を予定 講演と質疑 120分

令和6年度講演会題目

これからの里山を考える

—超学際的アプローチの試みNo.2—

講師:京都大学  
徳地 直子教授



## 講演要旨：

長岡京市の西山は里山と呼ばれる森林にあたり、農林業などに伴うさまざまな人間の働きかけを通じて、自然な状態とはちがった環境が生まれています。そこは単なる資材の供給の場でなく、多様な生物の生息地が生じて生物多様性が高く、独特の景観や文化が育まれる重要な地域なのです。

近年の地球規模での環境劣化や生物多様性の低下に対し、2022年12月に生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)で「昆明・モンリオール生物多様性枠組」が採択されました。そこでは「30by30」と呼ばれる「陸域・海域の30%以上を健全な生態系として保全する目標」が、2030年グローバルターゲットの1つに盛り込まれました。我が国でも2023年3月に新たな生物多様性国家戦略「生物多様性国家戦略2023-2030」を閣議決定し、「30by30」へ向かった動きが加速しています。

里山はそのような中でも重要な保全対象となって注目を集めています。今回は分野を問わずに協力して研究を進める超学際的な里山の保全の取り組みを紹介し、これからの里山について参加者全員で考えていきたいと思えます。

## 次年度以降の事業の展開

### 2年度

- 初年度の反省から事業の定着をはかる。ワークショップ形式の導入検討。
- HPによる知名度の向上。スタッフを増員

# 里山は楽しい！



# 里山で遊ぼう！

